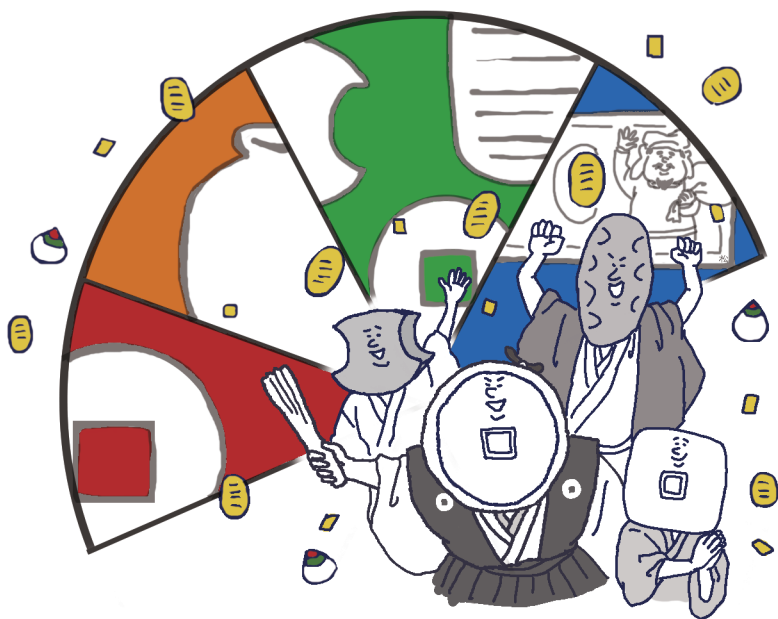


■ □ ■ 解答 ■ □ ■

貨幣博物館

学習シート

(中学・高校生編)



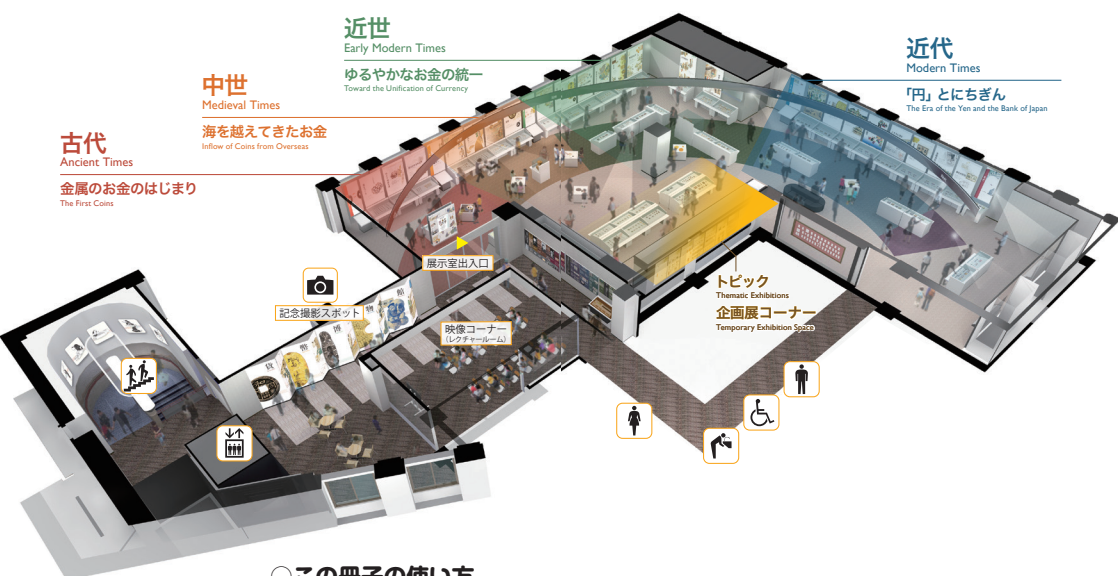
解答編では、各設問への解答に加えて、展示室内のどのケースにヒントが隠されているか紹介しています。 例：▲古代○ケース

普段みなさんも使っている「お金」。何が「お金」として選ばれてきたのか、どのように使われてきたのか、クイズを通して、お金やお金にまつわる歴史について理解を深めましょう！

お金には3つの特徴があります。

次の文の空白に当てはまる語句を考えて書き入れましょう。

- ①さまざまな人の間でだれでも [使う] ことができる。
- ②さまざまなものと [交換] できる。
- ③使いたい時まで [貯めておく] ことができる。



○この冊子の使い方

展示資料の見どころを知りたいキミは、各時代の **1** へ
お金についての歴史の流れをつかみたいキミは、各時代の **2** へ
江戸時代のお金について詳しく知りたいキミは、近世 **トピック** へ
もちろん全ページの質問に答えても OK !

古代 1

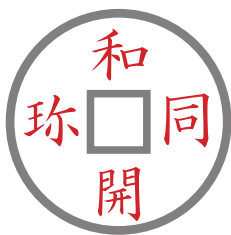
日本初！お金の発行 —金属のお金のはじまり—

1-1. 7世紀後半には、中国の銭貨を手本に日本で初めてつくられた銅銭「富本銭」、708年には「和同開珎」が発行されました。2つの銭貨の文字や模様を下の図に書き入れてみましょう。



富本銭

▲古代1ケース



和同開珎

▲古代2ケース

1-2. 右の写真にある、古代に発行された12種類の銭貨を見比べて、変化しているとこを書いてみましょう。

時代が新しくな
るにつれて、お金の
大きさが小さくなり、
文字が読みとりにくく
なっている。

新しくなるにつれて
大きさは？
文字は？

▲古代4ケース



どこが違うかな？



どちらも"銅"で
できているんだ！



和同開珎
708年



万年通宝
760年



神功開宝
765年



隆平永宝
796年



富寿神宝
818年



承和昌宝
835年



長年大宝
848年



鏡益神宝
859年



貞観大宝
870年



寛平大宝
890年



延喜通宝
907年



乾元大宝
958年

古代					中世
飛鳥時代	奈良時代	平安時代			鎌倉時代
7世紀	8世紀	9世紀	10世紀	11世紀	12世紀
◎富本銭の発行 ◎和同開珎の発行			◎国家による銭貨発行の停止		
■平城京の完成					
■平安京の完成					

古代 2

国家によるお金の発行と挫折

—古代銭貨の移り変わり—

2-1. 古代の日本に登場したお金について、次の文の空白に当てはまる語句を下の□から選んで書き入れましょう。

日本で最初につくられた銅銭は〔**富本** 銭〕といわれています。

中国の円形に四角い穴の開いた銭貨を手本につくられました。

8世紀はじめ、日本は〔**中国**〕(唐)の政治やしぐみにならって、律令という法制度を定め、天皇を中心とする中央集権国家を目指しました。

▲古代1ケース

708年には、全国的なお金の流通を目指して、和同開珎が発行されました。

銭貨は〔**平城** 京〕建設に必要な資材の購入資金や労働者の賃金として人々の手に渡りました。



◀古代2ケース

10世紀半ば以降、国は銭貨を発行しなくなりました。

その後、古代の人々はそれまでもお金として使ってきた〔**米**〕や〔**布**〕などをお金として使用しました。

▲古代4ケース

布 平安 中国 富本 米 平城

2-2. 古代に発行された13種類の銭貨は、時代が新しくなるにつれて見た目が小さく粗悪になっていきました。その原因や背景について、次の文の〔 〕の中の正しい語句に丸をつけましょう。

- ・銭貨の原材料である〔金／銀／**銅**〕があまり取れなくなったため。
- ・平城京や平安京のような大きな都の建設が〔増えた／**減った**〕ため。
- ・人々の間で銭貨への信用が〔高まった／**下がった**〕ため。

▲古代4ケース



お金×思想

お金のかたちの秘密

中国では古くから、円形は「天」を表し、方形(四角形)は「地」を表すと考えられてきました。円形に四角い穴の開いた銭貨のかたちは、この思想の影響を受けたものと言われています。

また、銭貨をつくる際に四角い棒を四角い穴に通して固定し、銭貨の側面を磨くのに便利であったため、このようなかたちになったという説もあります。



▲古代1ケース

中世 1

銭がやってきた！ —渡来銭のはじまり—

1-1. 12世紀半ば以降、中国から大量の銭貨（とらいせん渡来銭）が流入するようになると、人々は次第に銭貨を使いはじめます。

それまでお金として使われていた米などと比べて銭貨を使う際に便利だった点をいくつか考えてみましょう。

米や布はお金として使う度に重さや長さをはからなければならないが、銭貨は1枚の価値が決まっています、はかる必要がない。銭貨は数えたり、計算しやすいほか、紐でまとめられて持ち運びやすい。

▲中世1ケース

1-2. 中国（明）からの渡来銭の中で、東日本で特に好まれ、広く普及した銭貨の名前は何でしょうか？下の図に、銭貨の名前（漢字4文字）を記入してみましょう。

日本では10世紀半ばに乾元大宝が発行されて以降、約650年もの間国がお金を発行しなかったよ！



銭貨は「1枚 = 1文」だね

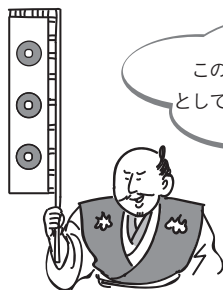
「宝」は「寶」、
「楽」は「樂」
でも正解
です。

永
宝 □ 通
楽

読み方は「えいらくつうほう」

▲中世5ケース

この銭は信長の旗印としても有名であるぞ！



中世				近世		
鎌倉時代		室町時代		戦国時代	安土桃山時代	江戸時代
12世紀	13世紀	14世紀	15世紀	16世紀	17世紀	
■鎌倉幕府の成立		○渡来銭の浸透		■室町幕府の成立		○撰銭の発生
○渡来銭の流入開始				○金貨・銀貨の登場		■江戸幕府の成立

中世 2

米か銭か？

— 銭貨の広がりえりぜにと撰銭 —

2-1. 中世の銭貨の使用について、次の文の空白に当てはまる語句を下の□から選んで書き入れましょう。

12世紀後半以降、人々の間で〔**渡来** (中国から来た) 銭〕の使用が広まり、▲中世1ケース

13世紀になると年貢を銭貨で納める代銭納が広がりました。また、各地にできた〔**市**〕では、特産物売って銭貨を手に入れることができました。▲中世3ケース

銭貨の使用が浸透し、問や〔**借上**〕などの裕福な商工業者や高利貸しが現れました。▲中世2ケース

市	渡来 (中国から来た)	借下	借上
---	-------------	----	----



2-2. 中世の銭貨の使用について、次の文の〔 〕の中の正しい語句に丸をつけましょう。

銭貨の使用が広まり、多くの銭貨が必要になる一方、国内の銭貨は〔**不足** / 増加〕するようになりました。人々は、中国の銭貨を真似て銭貨をつくるようになりました。

国内外で私的につくられた銭貨が流通するようになると、種類や形によって銭貨を区別する〔**賽銭** (さいせん) / 枝銭 (えだせん) / **撰銭** (えりぜに)〕が行われるようになりました。▲中世5ケース



このころ各地に市ができてにぎわっていたよ



市で商品売って銭を手に入れたんだね



銭が不足すると困ってしまうなあ

お金×考古 埋められた銭

13世紀後半から16世紀の各地の遺跡から、銭貨が大量に入った壺や容器が見つかっています。

銭貨をまとめて埋めた理由には様々な説があります。こつこつ貯めたお金を戦争や自然災害に備えて埋めたり、おまじないとして埋めたのかもしれないね。

▲中世4ケース



近世 1

ゆるやかなお金の統一

—金貨・銀貨・銭貨の登場—

1-1. 16世紀の甲州金と江戸時代の小判をじっくり見比べると、さまざまな模様や文字の中に、どちらにも額面を示す「壹両」という漢字が記されています。「壹両」を探して丸をつけましょう！



小判には「光次」という人名や桐の文様があるね

江戸時代の金貨は甲州金と同じ単位「両・分・朱」を使ったんだ

「壹」は漢数字の「一」のことだ



1-2. 16世紀の金貨や銀貨を見てみると、一部が切り取られているものがあります。どうして切り取られているのでしょうか？



小判や銭貨とは違って銀貨は大きさや重さが決まっていなかったんだ

銀貨は使う時に重さを量って取引された。そのため必要な重さに切り取って使われることがあった。

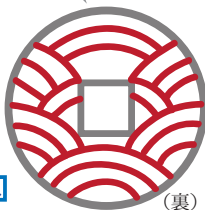
▲近世1手すり

1-3. 江戸時代の銭貨には、1枚1文の価値があるもの以外に、1枚で4文や10文の価値をもたせて発行されたものもありました。

1枚で4文の価値のある寛永通宝四文銭(真鍮)の裏側には、特徴的な模様を描かれています。その模様を右の図に描いてみましょう。

波のようにみえるね

今の100円均一のお店のようになんべつりものものを売っている「四文屋」が登場したよ



▶近世8ケース

近世				近代	
戦国時代 安土桃山時代		江戸時代		明治時代	
16世紀	17世紀	18世紀	19世紀	20世紀	
◎金貨・銀貨の登場	■江戸幕府の成立	◎藩札発行の広まり	■寛政の改革	■天保の改革	■幕末開港
	◎幕府による金貨・銀貨・銭貨の発行	■享保の改革			■明治政府の成立
◎天正大判の登場					

近世 2

貨幣天下統一

—約 650 年ぶりの国家による貨幣の発行—

2-1. 戦国時代から江戸時代のお金について、次の文の空白に当てはまる語句を下の□から選んで書き入れましょう。

戦国時代、各地の戦国大名たちは金銀鉱山の開発に力をいれました。

〔石見〕 鉱山（現・島根県）はこの頃から開発が進められ、石州銀という銀貨がつくられました。 ▲近世1ケース

幕府の設立を目指していた徳川家康は、1601年に〔全国〕で流通する金銀貨（慶長金銀）を発行しました。家康はお金をつくる技術を管理し、お金の大きさや重さ、金銀の含有率（品位）を統一しました。1636年には銭貨〔寛永通宝〕も発行され、日本独自のお金が使われるようになりました。江戸時代にはこれらの金属のお金と同時に紙のお金も登場しました。藩や有力な商人が発行し特定の地域に限り使われた紙幣で、これを〔藩札〕といいます。 ▲近世10ケース

全国 寛永 石見 府県 藩

2-2. 江戸時代のお金の使われ方について、次の文の〔 〕の中の正しい語句に丸をつけましょう。

江戸時代後半には、全国的な商品の流通が活発になったため、人々がお金を使う機会が増え、お金は〔不足〕/〔過剰〕 気味になりました。幕府は小額面の銀貨を発行し、これに対応しました。銀貨はもともと〔重さ〕/〔長さ〕を量って使う秤量貨幣でしたが、「一朱銀」や「二朱銀」といった〔銅貨〕/〔金貨〕で使われていた単位を額面にもつ計数貨幣の銀貨が登場しました。 ▲近世9ケース

お金×漢字 “貝”の付く漢字

漢字は古代中国で生まれた文字で、「貝」という字は子安貝の形がもとになっています。子安貝は宝貝ともよばれ、入手することが難しく貴重なものでした。中国では、子安貝がお金として用いられ、そのためお金や経済に関係のある漢字には貝が多く使われました。

(例：買・貸・貴・費・質・賃・資・財・貯・販・贈・賜・購…など)



▲トピック・体験テーブル

世界は大航海時代

日本の銀は海外にも輸出されるようになったよ



海外の地図にもこの銀山がのっていただね!!!

近世 トピック

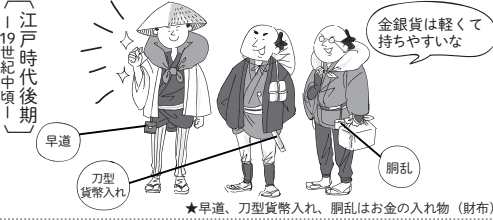
そうだ、旅にしよう！

—江戸時代の旅に必要なお金と両替—



江戸時代の人になりきって、伊勢詣での旅を楽しもう！ **▼近世 14 ケース**

① ようやくお金がたまってきたから、旅の支度だ！



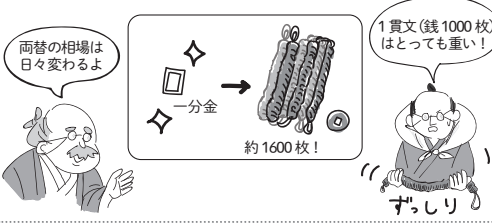
② そば屋へ行こう！でも金貨だと高額すぎて受け取ってもらえないかな？



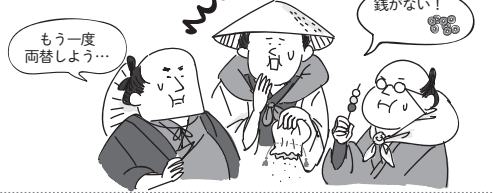
③ 両替屋に行って金貨を銭に両替しておこう。



④ 一分金ひとつは銭で約1貫600文ですよ。



⑤ 宿代や酒代、茶代にあべ川もち代を払ったら、わらじを買う銭が足りない！



⑥ 二朱銀ひとつは銭にすると約800文ですよ。



▼公定相場（1840年代の一例）

● 小判 1両	=	● 銀貨 60匁 =	● 錢貨 6,500文
			= 錢貨 6,500枚
■ 二分金 2枚(1818~)	=	■ 五匁銀 12枚	(= 錢貨 6貫500文)
■ 一分金 4枚	=	■ 一分銀 4枚	
■ 二朱金 8枚(1697~)	=	■ 二朱銀 8枚	
■ 一朱金 16枚(1824~)	=	■ 一朱銀 16枚	
		1765年~ 計数銀貨	

1700年ごろは
小判1両=錢貨4,000文
時期によって違うね!!!



★ 江戸時代の金貨の両替について、次の空白に当てはまる数字を書き入れましょう。

小判1両 = [4] 分
= [16] 朱

▲近世3手すり

近代 1

新しい時代の夜明け —「円」の誕生—

1-1. 下の写真は、すべて明治時代の前半に発行され全国で流通した「円」単位の紙幣です。
写真と名前の組み合わせで正しいものを線で結びましょう。



大黒札というからには
富や財産の象徴の
大黒様がいるはず…



縦型なのは江戸時代
の藩札と同じだね



神功皇后は
古代の伝説上の
お后さまだ



1-2. 明治時代のはじめにつくられた金貨や銀貨、銅貨には
(天皇の顔のかわりに) ある伝説上の生き物が刻印されました。
さて、この生き物は何でしょう？

▼近代3ケース

龍 (竜・ドラゴン)

さすが日本人
彫金家の力作だね



イギリス人技師にも
賞賛されたほど良い
出来だったんだ

「二十圓」??!
「圓」は「円」の
旧字なんだって!

近世	近代					
江戸時代	明治時代	大正時代	昭和時代			
19世紀	20世紀					
■天保の改革	■幕末開港	○「円」誕生 (1871年)	○日本銀行設立 (1882年)	○金融恐慌	○管理通貨制度への移行	○新円切替え
	■明治政府の成立	○金本位制の導入	■日清戦争	■日露戦争	■第一次世界大戦	■第二次世界大戦

近代 2

円とにちぎん

—日本銀行の設立まで—

2-1. 幕末から明治時代前半（日本銀行が設立される前）のお金について、次の文の空白に当てはまる語句を下の□から選んで書き入れましょう。

1858年に日本はアメリカなど5ヶ国と通商条約を結び、各国との本格的な〔貿易〕がはじまりました。明治維新の後、新しい通貨制度を整えることとなり、1871年に全国統一のお金の単位〔円〕が導入されました。政府が紙幣を発行したのに次いで、民間銀行も紙幣を発行するようになりました。 ▲近代1・3ケース

しかし1877年に〔西南〕戦争が起こると、戦費調達のため紙幣の発行が増え、その後、紙幣の価値が大きく下落しました。1881年に大蔵卿（現在の財務大臣）となった松方正義は、〔増税〕や官営事業の払い下げなどにより財政を改善させ、紙幣価値の回復を目指しました。 ▲近代6ケース

戊申 西南 増 減 円 ドル 貿易

1871年から
1円 = 100 銭
= 1,000 厘
となったよ



民間銀行は「国立銀行」という名称だったなあ…



2-2. 日本銀行の設立の背景について、次の文の〔 〕の中の正しい語句に丸をつけましょう。

「円」の誕生後、政府や民間銀行によるさまざまな通貨制度の試みを経て、1882年に日本銀行が設立されました。日本銀行は唯一〔紙幣/貨幣〕を発行する銀行となり、お金の価値を安定させる役割を担いました。

1885年から発行が開始された日本銀行券は〔金貨/銀貨〕との兌換（交換）が可能な紙幣でしたが、その後、金本位制を経て、管理通貨制度に移行しました。 ▲近代7ケース

お金×地理 日本銀行は何の跡地？

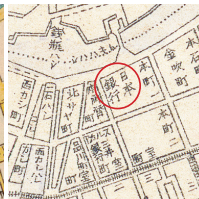
現在、日本銀行本店が建っている中央区日本橋本石町は、江戸時代に「金座」があった場所です。「金座」では小判がつくられ、一方現在も地名として残る「銀座」は、江戸時代には銀貨をつくる場所でした。

▲近世6手すり

▼江戸時代の地図

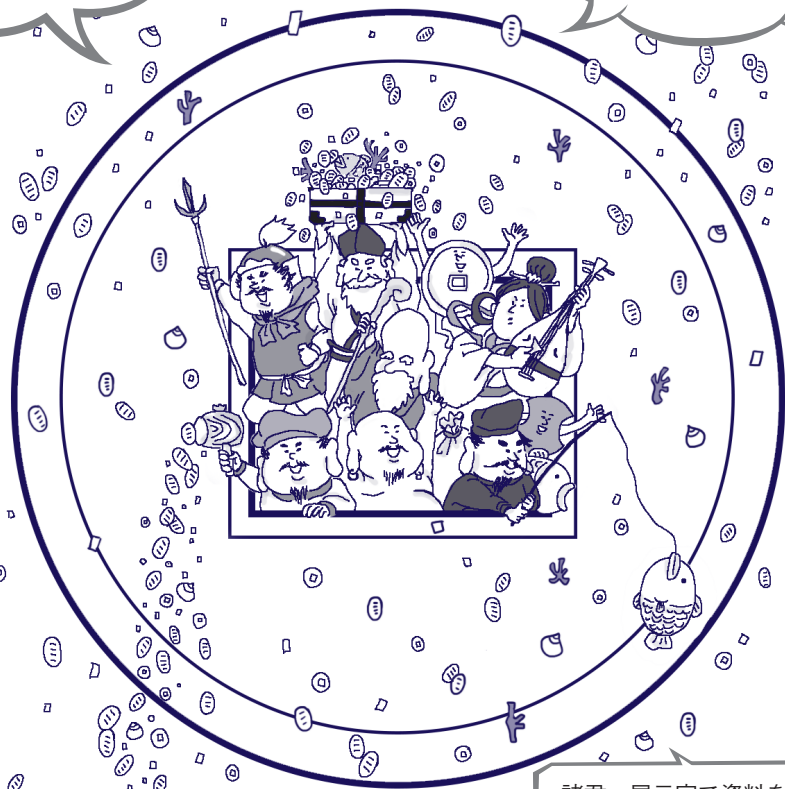


▼明治時代の地図



展示室には
大黒や恵比寿の神が
いたるところに
隠れておるぞ！

ホンモノをみると、
発見や驚きもあるぞ！
そうやってお金への理解
が深まるのじゃ。



諸君、展示室で資料を
じっくり見ておくれ！

WORK SHEET FOR JUNIOR HIGH AND HIGH SCHOOL STUDENTS

CURRENCY MUSEUM / INSTITUTE FOR MONETARY AND ECONOMIC STUDIES / BANK OF JAPAN